

**標準的な健診・保健指導
プログラム
(暫定版)**

厚生労働省健康局

標準的な健診・保健指導プログラム（目次）

第1編 健診・保健指導の理念の転換

第1章 新たな健診・保健指導の方向性

- (1) これまでの健診・保健指導の現状と課題
- (2) これからどのように変わるのか
- (3) 標準的な健診・保健指導プログラムの特徴
- (4) これまでの健診・保健指導と今後の保健指導
 - 1) 健診・保健指導の重点の変化
 - 2) 健診・保健指導の目的
 - 3) 保健指導の対象者
 - 4) 保健指導の内容
 - 5) 保健指導の方法
 - 6) 健診・保健指導の評価
 - 7) 実施体制

第2章 新たな健診・保健指導の進め方（フロー）

第3章 保健指導従事者が有すべき資質

- (1) 「健診・保健指導」事業の企画・立案・評価
 - 1) データを分析し、優先課題を見極める能力
 - 2) 健診・保健指導の企画・調整能力
 - 3) 保健指導の委託に関する能力
 - 4) 評価能力
 - 5) 保健指導の質を確保できる能力
 - 6) 保健指導プログラムを開発する能力
- (2) 対象者に対する健診・保健指導
 - 1) 健診結果と生活習慣病の関連を説明できる能力
 - 2) 対象者との信頼関係の構築
 - 3) アセスメント
 - 4) 相談・支援技術
 - 5) 栄養・食生活についての専門知識
 - 6) 身体活動・運動習慣についての専門知識
 - 7) 学習教材の開発
 - 8) 社会資源の活用

第2編 健診

第1章 内臓脂肪症候群に着目する意義

- 第2章 健診の内容
- 第3章 保健指導対象者の選定と階層化の基準
- 第4章 健診の精度管理
- 第5章 健診データ等の電子化
- 第6章 健診及び健診データ管理のアウトソーシング基準

第3編 保健指導

第1章 保健指導の基本的考え方

- (1) 保健指導の目的
- (2) 保健指導とは
- (3) 生活習慣改善につなげる保健指導の特徴
- (4) 必要とされる保健指導技術
- (5) 効果的な保健指導方法の開発
- (6) ポピュレーションアプローチの活用
- (7) 地域・職域におけるグループ、ボランティア等との協働
- (8) 保健指導プログラムの標準化とは

第2章 保健指導計画の作成

- (1) 現状分析
 - 1) 分析が必要な理由
 - 2) 分析すべき項目
 - 3) 分析の方法と保健事業（保健指導）計画への活用
- (2) 保健事業（保健指導）の目標設定
- (3) 保健事業（保健指導）計画作成
 - 1) 保健指導全体の計画
 - 2) 実施体制に関する計画
 - 3) 評価計画
- (4) 保健事業（保健指導）計画作成のフロー

第3章 保健指導の対象者

- (1) 基本的事項
- (2) 対象者の選定方法
- (3) 留意事項
- (4) 保健指導対象者の選定方法の修正
- (5) 保健指導を実施する際の間診

第4章 保健指導の実施

- (1) 基本的事項
 - 1) 対象者ごとの保健指導プログラムについて
 - 2) 保健指導の実施者
 - 3) 保健指導に必要な詳細な問診

- 4) 保健指導の際に活用する支援材料
- 5) 記録とデータ管理
- (2) 「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」の内容
 - 1) 「情報提供」
 - 2) 「動機づけ支援」
 - 3) 「積極的支援」
 - 4) 実施にあたっての留意事項
- (3) 保健指導の事例

第5章 保健指導の評価

- (1) 保健指導における評価の意義
- (2) 評価の観点
- (3) 具体的な評価方法
 - 1) 「個人」に対する保健指導の評価
 - 2) 「集団」に対する保健指導の評価
 - 3) 「事業」に対する保健指導の評価
- (4) 評価の実施責任者
- (5) 評価の根拠となる資料

第6章 地域・職域における保健指導

- (1) 地域保健と職域保健の保健指導の特徴
 - 1) 地域の生活の場に応じた保健指導
 - 2) 組織体制に応じた保健指導
 - 3) 対象者に対するアクセス
 - 4) 保健指導の評価
 - 5) ポピュレーションアプローチと社会資源の活用による支援
- (2) 地域・職域連携による効果
 - 1) 健診・保健指導における地域・職域連携の効果
 - 2) 健診・保健指導における地域・職域連携のための方策

第7章 保健指導の実施に関するアウトソーシング

- (1) 基本的事項
 - 1) 保健指導アウトソーシングの必要性
 - 2) アウトソーシングの目的
- (2) アウトソーシングの対象となる保健指導業務
 - 1) 全面委託、部分委託のメリット、デメリット
 - 2) 「情報提供」のアウトソーシング
 - 3) 「動機づけ支援」のアウトソーシング
 - 4) 「積極的支援」のアウトソーシング
- (3) アウトソーシングの手順
- (4) 保健指導アウトソーシングの留意事項

- 1) 委託する業務の目的の明確化
 - 2) 保健指導の質の評価
 - 3) 委託した業務と生活習慣病対策全体の連動
 - 4) 医療保険者の専門職の技術の維持・向上
 - 5) モニター、苦情処理
 - 6) 保健指導の価格の設定
 - 7) 委託基準の作成、委託方法の透明化
 - 8) 個人情報の管理
 - 9) 収益事業との区分の明確化
- (5) 委託基準
- (6) 国、都道府県、市町村、医療保険者の役割
- 1) 国の役割
 - 2) 都道府県の役割
 - 3) 市町村（一般行政）の役割
 - 4) 医療保険者の役割

第4編 体制・基盤整備

第1章 人材育成体制の整備

第2章 最新の知見を反映した健診・保健指導内容の見直しのための体制整備

第3章 健診・保健指導に関連する標準的なデータ評価と管理